

令和5年度環境調査報告書

(ダイオキシン類編)

奈 良 県

目 次

1. 目 的	1
2. 測定方法	1
3. 調査結果	2
(1) 大気	2
(2) 公共用水域（水質・底質）	4
(3) 地下水	6
(4) 土壌	7

1. 目的

ダイオキシン類対策特別措置法（以下、法という。）第 26 条の規定に基づき、環境中の大気についてダイオキシン類の常時監視を実施した。

2. 測定方法

(1) 大 気

「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル（令和 4 年 3 月 環境省 水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室、大気環境課編）に準拠。

(2) 公共用水域（水質）

J I S K 0 3 1 2 に準拠。

(3) 公共用水域（底質）

「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル（平成 2 1 年 3 月 環境省 水・大気環境局水環境課編）」に準拠。

(4) 地下水

J I S K 0 3 1 2 に準拠。

(5) 土 壤

「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル（令和 4 年 3 月 環境省 水・大気環境局土壌環境課編）」に準拠。

3. 令和5年度の調査結果

(1) 大気

○ 測定地点・測定回数

8地点（大和平野北部4地点、中部2地点、南部2地点）において年2回（夏季（7～8月）、冬季（2月））測定を行った。

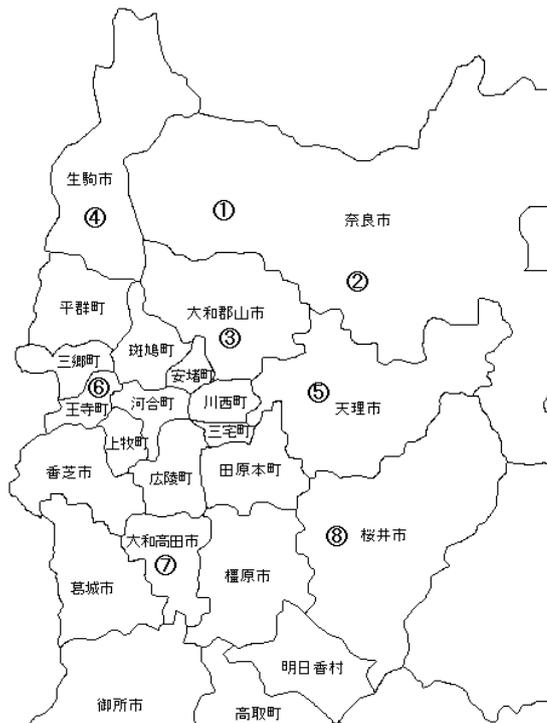


図 1 ダイオキシン類（大気）測定地点

表 1 ダイオキシン類（大気）測定地点

測定地点		測定対象	測定回数	
北 部	①奈良市	百楽園	大気	2回/年
	②奈良市	西木辻町	大気	2回/年
	③大和郡山市	馬司町	大気	2回/年
	④生駒市	山崎町	大気	2回/年
中 部	⑤天理市	丹波市町	大気	2回/年
	⑥北葛城郡王寺町	王寺	大気	2回/年
南 部	⑦大和高田市	大中	大気	2回/年
	⑧桜井市	粟殿	大気	2回/年

○ 測定結果（大気）

全地点の平均値は $0.013\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ 、年平均値の濃度範囲は $0.0084\sim 0.034\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ であり、全ての地点で環境基準（ $0.6\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ ）を下回っていた。

表 2 ダイオキシン類（大気）測定結果（令和 5 年度）

（単位： $\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ ）

調査地点		調査時期		
		夏 期	冬 期	年平均値
北 部	① 奈良市百楽園	0.0093	0.010	0.0097
	② 奈良市西木辻町	0.011	0.011	0.011
	③ 大和郡山市馬司町	0.013	0.014	0.014
	④ 生駒市山崎町	0.011	0.011	0.011
中 部	⑤ 天理市丹波市町	0.0097	0.014	0.012
	⑥ 北葛城郡王寺町	0.020	0.034	0.027
南 部	⑦ 大和高田市大中	0.0084	0.015	0.012
	⑧ 桜井市栗殿	0.0090	0.015	0.012

< 環境基準 > $0.6\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$

※ 環境基準達成状況は、同一測定点における 1 年間の全ての検体の測定値の算術平均値で評価

表 3 ダイオキシン類（大気）調査結果の経年変化

（単位： $\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ ）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
年平均値	0.013	0.023	0.020	0.012	0.013
測定地点数	県 : 6 地点 奈良市 : 2 地点				

(2) 公共用水域 (水質・底質)

○測定地点・測定回数 (水質・底質)

水質

2水系6地点 (大和川水系3地点、淀川水系3地点) において年1回実施した。

また、大和川水系において、1地点 (藤井) では年4回実施した。

1) 底質

2水系7地点 (大和川水系4地点、淀川水系3地点) において年1回実施した。

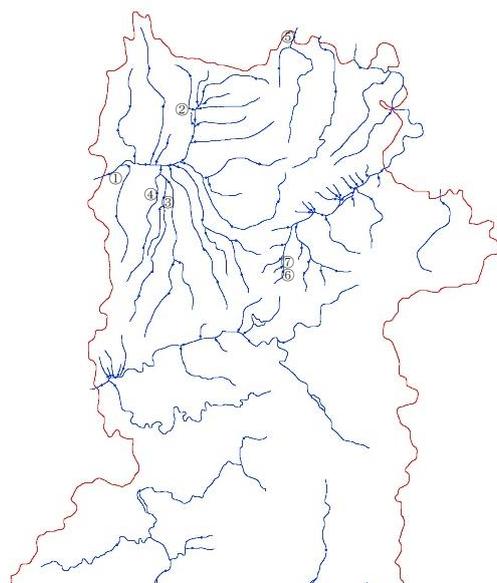


図2 ダイオキシン類 (公共用水域 (水質・底質)) 測定地点

表4 ダイオキシン類常時監視地点 (公共用水域 (水質・底質))

	測定地点			測定対象	測定回数
	水系名	河川名	地点名		
①	大和川	大和川	藤井	水質・底質	水質：4回/年 底質：1回/年
②	大和川	秋篠川	七条東町	水質・底質	1回/年
③	大和川	葛城川	枯木橋	水質・底質	1回/年
④	大和川	高田川	里合橋	水質・底質	1回/年
⑤	淀川	白砂川	広岡町	水質・底質	1回/年
⑥	淀川	宇陀川	新大東橋	水質・底質	1回/年
⑦	淀川	黒木川	黒木川流末	水質・底質	1回/年

○測定結果

1) 水質

全地点の平均値は 0.34pg-TEQ/L、年平均値の濃度範囲は 0.073～0.64pg-TEQ/L であり、全ての地点で環境基準（1pg-TEQ/L）を下回っていた。

※ 環境基準達成状況は、同一測定点における1年間の全ての検体の測定値の算術平均値で評価

底質

全地点の平均値は 0.38pg-TEQ/g、年平均値の濃度範囲は 0.18～0.74pg-TEQ/g であり、全ての地点で環境基準（150pg-TEQ/g）を下回っていた。

表 5 ダイオキシン類（公共用水域）測定結果（令和5年度）

	測定地点			ダイオキシン類毒性等量		
	水系名	河川名	地点名	水質 (pg-TEQ/L)	底質 (pg-TEQ/g)	
①	大和川	大和川	藤井	0.34	0.40	0.26
				0.75		
				0.36		
				0.16		
②	大和川	秋篠川	七条東町	0.31	0.30	
③	大和川	葛城川	枯木橋	0.64	0.26	
④	大和川	高田川	里合橋	0.62	0.29	
⑤	淀川	白砂川	広岡町	0.13	0.74	
⑥	淀川	宇陀川	新大東橋	0.18	0.18	
⑦	淀川	黒木川	黒木川流末	0.073	0.61	

<環境基準>水質：1pg-TEQ/L、底質：150pg-TEQ/g

※ 環境基準達成状況は、同一測定点における1年間の全ての検体の測定値の算術平均値で評価

(3) 地下水

○ 測定地点・測定回数

7 地点 (5 市町村) においてそれぞれ年 1 回実施した。

○ 測定結果

7 地点の平均値は 0.048pg-TEQ/L、濃度範囲は 0.029～0.075pg-TEQ/L であり、全ての地点で環境基準 (1pg-TEQ/L) を下回っていた。

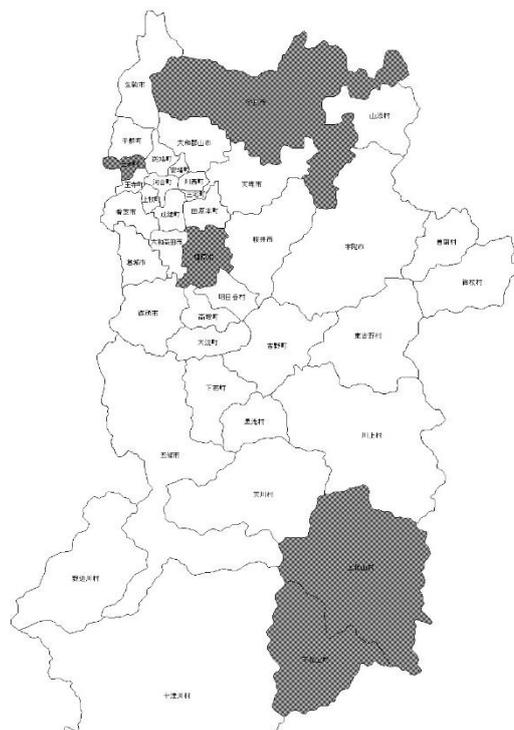


図 3 ダイオキシン類 (地下水) 測定地点

表 6 ダイオキシン類 (地下水) 測定結果 (令和 5 年度)

測定地点		測定回数	ダイオキシン類 毒性等量 (pg-TEQ/L)
奈良市	東鳴川町	1 回	0.075
奈良市	西九条町	1 回	0.067
橿原市	中曽司町	1 回	0.029
橿原市	下八釣町	1 回	0.075
三郷町	立野北	1 回	0.030
上北山村	小椽	1 回	0.029
下北山村	浦向	1 回	0.029

< 環境基準 > 1pg-TEQ/L

※ 環境基準達成状況は、同一測定点における 1 年間の全ての検体の測定値の算術平均値で評価

(4) 土 壤

○ 測定地点・測定回数

8 地点（一般環境 5 地点、発生源周辺 3 地点）においてそれぞれ年 1 回測定した。

○ 測定結果

8 地点の平均値は 3.0pg-TEQ/L、濃度範囲は 0.014~13pg-TEQ/L であり、全ての地点で環境基準（1000pg-TEQ/L）を下回っていた。

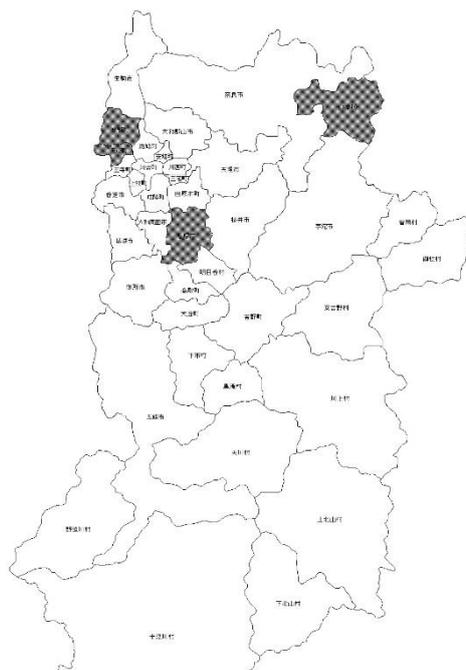


図 3 ダイオキシン類（土壌）測定地点

表 7 ダイオキシン類（土壌）調査結果（令和 5 年度）

測定地点		分類	測定回数	ダイオキシン類 毒性等量 (pg-TEQ/L)
檀原市	戒外町	一般環境	1 回	0.27
檀原市	白檀町	発生源周辺	1 回	1.1
檀原市	中曽司町	一般環境	1 回	8.0
山添村	三ヶ谷	一般環境	1 回	0.88
平群町	若井	発生源周辺	1 回	0.10
平群町	若葉台	一般環境	1 回	0.47
三郷町	信貴山東	発生源周辺	1 回	13
三郷町	勢野東	一般環境	1 回	0.014



奈良県エコキャラクター な～らちゃん